

女性の視点での避難所運営の大切さについて

※令和2年5月 内閣府男女共同参画局 災害対応力を強化する女性の視点
～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～より

災害は、自然現象による被害と、社会要因による被害の両方で全体の被害の大きさが決まる

⇒男女の違いに配慮した避難所運営による環境改善が、結果として災害の被害全体を小さくすることにつながる

●避難所の管理責任者について

男性と女性の両方を配置 ⇒ 男性も女性も要望を伝えやすい

※海南市避難所運営マニュアルにも、運営本部の女性割合3割以上を目標とし、本部長、副本部長のうち、少なくとも1人を女性とし、女性の意見が十分に反映されるように考慮との記載あり

●過去の事例をふまえて、女性の視点に立った避難所となるように取り組む

プライバシーへの配慮

・トイレ・更衣室・物干し場・休養スペースを男女別にし、安心して利用できるよう配慮

ルール作り

・女性用品の配布は女性が担当する（状況に応じ、生理用品はトイレに設置）
・食事作りや片付け等の特定の活動が特定の立場や性別に偏って固定化しないように

暴力防止の体制づくり・安全の確保

・男女一緒での見回りの実施し、女性や子供は2人以上で行動する
・防犯ブザーやホイッスルを配布
・啓発ポスターの掲示
・相談窓口の周知⇒トイレ等、人の目につかず、手に取れるところに相談窓口のカードを配置
・DVやストーカー等の被害者を保護するため、個人情報の管理を徹底する。

【性暴力相談窓口】

・性暴力救援センター和歌山 わかやまマイン 444-0099
電話相談：24時間365日（但し、22時～翌朝9時と年末年始はコールセンターでの対応）
面談相談：平日9時～17時45分（要予約、※女性のみ）
・curetime：毎日17時～21時（性暴力被害についてチャットやメールで性別を問わず匿名で相談可能）
・警察庁性犯罪被害相談電話#8103

【DV相談、その他相談窓口】

・DV相談ナビ #8008（最寄りの相談窓口に自動転送されます）
・和歌山県警察本部警察相談課 #9110
・和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 445-0793
・和歌山県男女共同参画センター“りいぶる” 435-5246